



# きっずる一むだより

第 47 号  
令和 6 年 9 月 10 日発行  
社会福祉法人ゆうゆう  
きっずる一む県庁別館



9 月になりましたが、厳しい残暑が続いています。

この夏、きっずる一むの子どもたちは県庁の庭で元気いっぱい水遊びを楽しみました。バケツの水をダイナミックにかけて遊ぶ子どもや、ペットボトルシャワーの水を手で掴もうとする子どもなど遊び方もそれぞれでした。また、子どもたちの中に水遊びは少し苦手なのかなという子どももいました。子どもたちそれぞれのペースや距離感を大切に、これからもその季節ならではの遊びをたくさん取り入れ楽しんでいきたいと思ひます。

## ごっこ遊び



A 君(4 歳 7 か月)と B 君(3 歳 0 ヶ月)は積み木と線路を使って町作りに夢中になっています。いつもは一人で電車遊びをしている B 君も、久しぶりにお兄さんのお友達と一緒に遊ぶことができ嬉しそうです。

B 君が A 君に「大きい線路作ろう」と声をかけると、「ねーね、B 君」と A 君は B 君に声をかけ、2 人で協力をして町を作っていました。

## A 君と B 君から見る発達

3 歳から 4 歳ごろになるとごっこ遊びが始まるようになります。また、3 歳児頃は周りの友達が気になり様々なことを真似したくなる時期でもあります。

A 君が線路の下に積み木を入れて坂道を作るのを見て、自分もやってみたいと B 君も坂道を作りました。そして、A 君が「線路移動させるよ」と言うと B 君は「じゃあ、もっと大きい線路にしない?」と言い 2 人で相談をしながら遊んでいました。時には役割や設定など友達と意見が食い違ってしまうこともありますが、コミュニケーションを取っていく中で協調性も育まれていくと言われています。

きっずる一むでは子どもの真似したい、やってみたい気持ちをたくさん受け止め、これからも保護者の方と一緒に子どもたちの成長を見守っていききたいと思ひます。

## おもちゃ紹介

丸、三角、四角といった形の他にも、バツ、円錐、トンネル型などが様々な形のある積み木。高く積み上げたり、お城を作ったり、きっずる一むの子どもたちも、この積み木を使い、自由に遊びを楽しんでいます。

エピソードのように木製の線路と一緒に楽しむこともでき、積み木は、子どもの思考力、創造力を豊かにしてくれるおもちゃの一つでもあります。

